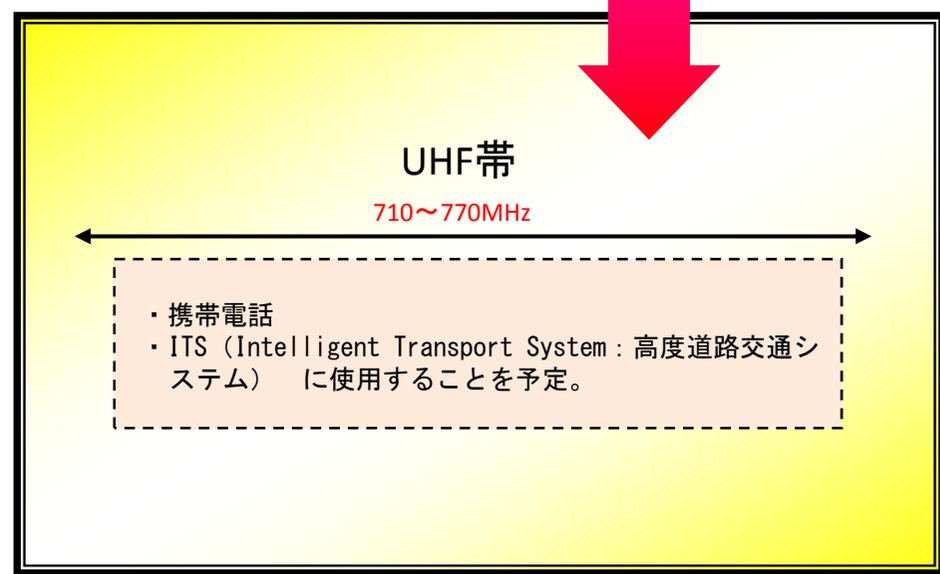
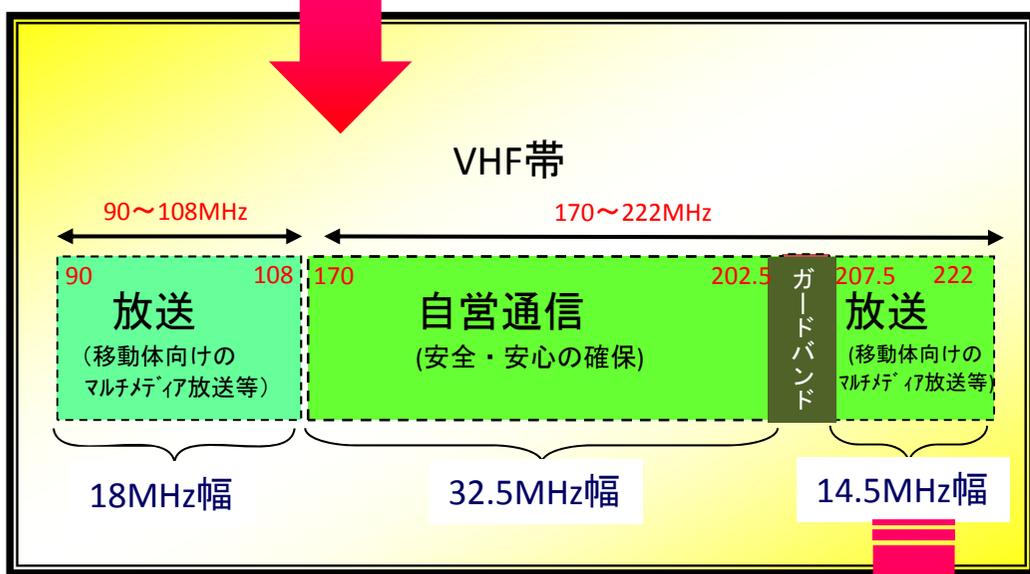
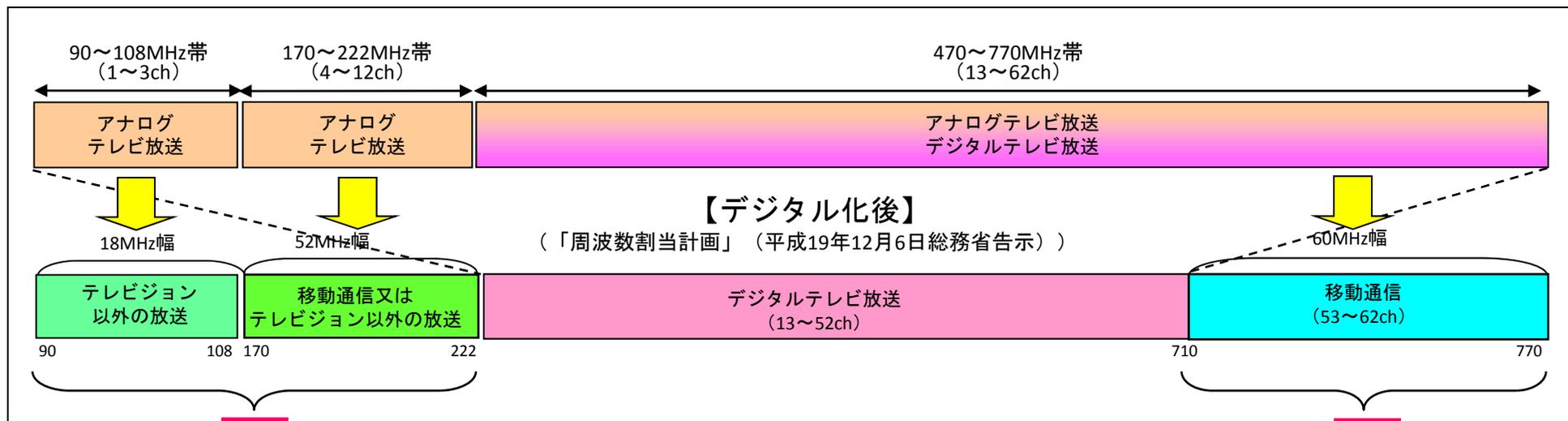


デジタル移行後の空き周波数の有効利用



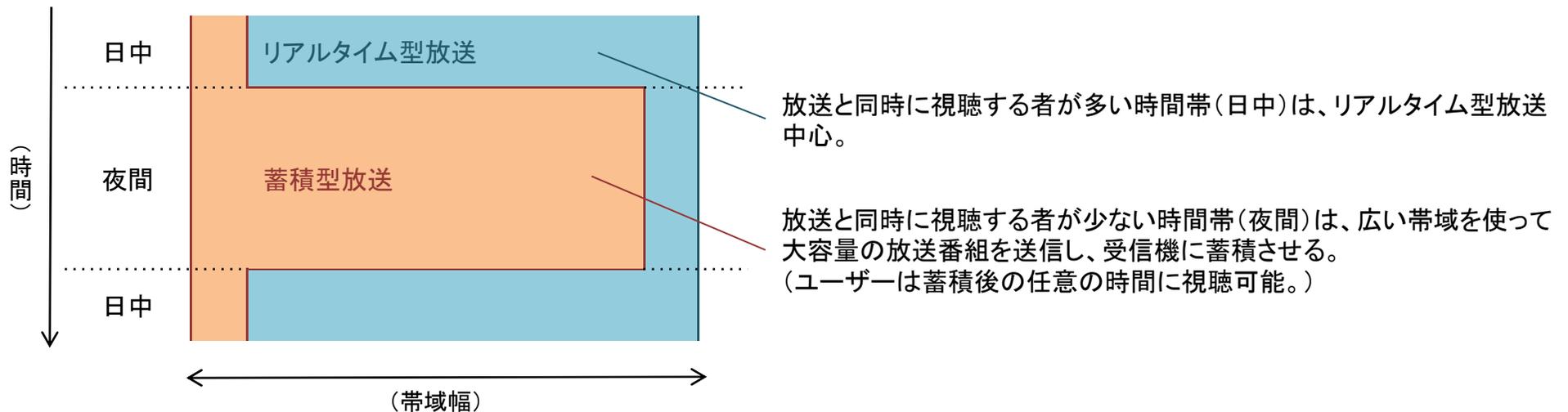
V-Highマルチメディア放送

携帯端末向けマルチメディア放送(V-High)イメージ

V-Highマルチメディア放送サービスイメージ

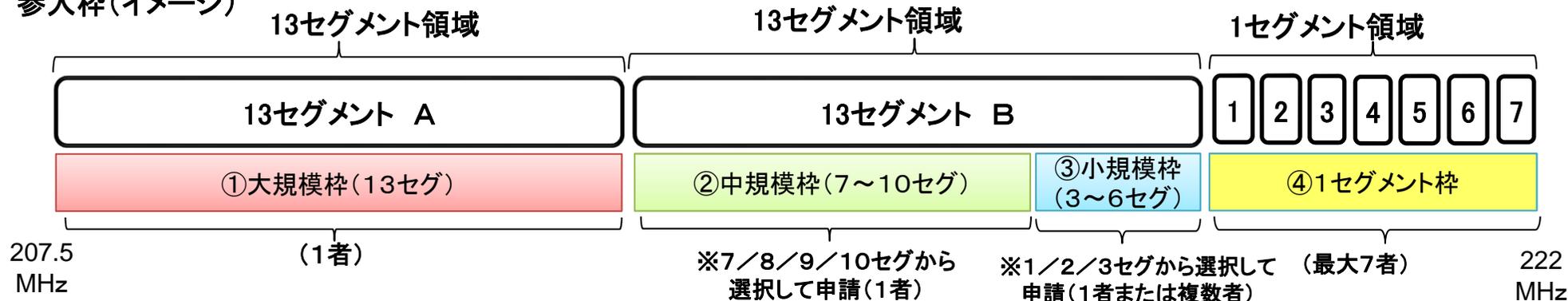


周波数利用のイメージ(リアルタイム型放送と蓄積型放送)



制度整備の概要

I 参入枠(イメージ)



※①大規模枠(13セグ)と②中規模枠(7~10セグ)、③小規模枠(3~6セグ)については13セグメントA、13セグメントBのどちらかを選択して申請。

II 審査基準の設定

絶対審査項目 (放送法関係審査基準第10条の3及び認定方針第3条)

- 番組準則(公序良俗、政治的公平等)の遵守
- 番組基準の策定、番組審議機関の設置
- 個人情報保護
- 有料放送の提供条件の説明、苦情処理
- 表現の自由の享有(1者当たり13セグメントを上限)
- 災害放送の実施
- 設備の保守・管理、障害時の対応体制
- 欠格事由(外資規制及び処罰歴) 等

【絶対審査項目に適合する申請が割当て枠数を超えた場合】

→ 一項目でも不適合 = 拒否処分

比較審査基準 (認定方針第4条)

- 事業計画の適正性及び確実性
- 放送番組の多様性
- マルチメディア放送の特性を生かしたサービスの推進
- 青少年の保護
- 放送番組の制作及び調達に係る取引の適正性等の確保
- 国内受信者の利益の確保
- 受信設備の普及に関する事項 等

注) 一部の項目については、申請枠によって適用しない。

→ 適合性の高いものを認定